

第2号議案 別表（第2期中期事業計画(案)アクションプラン）

具体的取組	担当部署	2024年度				到達目標・KGI	2025年度		2026年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q		アクションプラン	到達目標・KGI	アクションプラン	到達目標・KGI	
<b>重点戦略1.「新生シリコンアイランド九州」の実現 ～半導体関連産業を中心とした産業集積支援と新たなまちづくり等に向けた取組み</b>											
1	九州地域戦略会議と連携した「新生シリコンアイランド九州」の実現	産業振興部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■新生シリコンアイランド九州実現のための課題整理</li> <li>■戦略会議への報告(6月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課題解決推進のための協議会の設置準備</li> <li>■戦略会議への提言内容検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■協議会設置(下部組織として課題解決を推進するWG併設。民主導で推進)</li> <li>■課題解決に向けたWG活動</li> <li>■戦略会議への報告・提言(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課題解決に向けたWG活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎協議会の設置</li> <li>◎課題解決に向けたWG活動始動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課題解決に向けたWG活動(WG追加・削除を2Q末までに検討)</li> <li>■戦略会議への提言と活動内容報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎課題解決 1件以上/年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■課題解決に向けたWG活動(WG追加・削除を2Q末までに検討)</li> <li>■戦略会議への提言と活動内容報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎課題解決 1件以上/年</li> </ul>
2	半導体関連企業および半導体ユーザー企業の誘致・育成支援	産業振興部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各地域委員会での課題共有と情報収集</li> <li>■誘致方針の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■戦略会議の結果に基づいた企業誘致活動、日台協業モデルの構築検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■戦略会議の結果に基づいた企業誘致活動、日台協業モデルの構築検討</li> <li>■台湾等諸外国・地域との交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎日台協業モデルを構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■戦略会議の結果に基づいた企業誘致活動(サプライチェーンの上流企業(ユーザー企業、特にソフトウェア・AI関連)、日台協業促進)</li> <li>■台湾等諸外国・地域との交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎日台協業案件5件(累計)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■戦略会議の結果に基づいた企業誘致活動(サプライチェーンの上流企業と下流企業(販社))、日台協業促進</li> <li>■台湾等諸外国・地域との交流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎日台協業案件10件(累計)</li> </ul>	
<b>重点戦略2. 各産業の高度化・持続可能性向上・成長支援</b>											
3	九州全域での中小・中堅企業に対するDX支援の推進	産業振興部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中小企業のDX実装支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題分析、戦略作成のコンサルティング、マッチング、実装を実施(九州DX推進コンソーシアムと協働した経産省補助事業の継続実施、目標:5社)</li> </ul> </li> <li>■DX支援スキームの検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○本スキームの目標設定</li> <li>○各県等の相談窓口と九経連(DXコン)への中小企業紹介に関する連携方法検討</li> </ul> </li> <li>■保有ソリューションの整理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○DX推進のための保有ソリューション・スキルマップを作成</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中小企業のDX実装支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題分析、戦略作成のコンサルティング、マッチング、実装を実施(九州DX推進コンソーシアムと協働した経産省補助事業の継続実施、目標:5社)</li> </ul> </li> <li>■DX支援スキームの検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題分析、戦略策定結果の情報共有方法の検討 他</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中小企業のDX実装支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題分析、戦略作成のコンサルティング、マッチング、実装を実施(九州DX推進コンソーシアムと協働した経産省補助事業の継続実施、目標:5社)</li> </ul> </li> <li>■DX支援スキームの検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○支援結果の集約、評価方法の検討</li> </ul> </li> <li>■DX啓蒙活動の検討                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○シンポジウム、相談会などの開催について、各県と協議</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■中小企業のDX実装支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○課題分析、戦略作成のコンサルティング、マッチング、実装を実施(九州DX推進コンソーシアムと協働した経産省補助事業の継続実施、目標:5社)</li> </ul> </li> <li>■DX支援スキーム試行、実施結果の分析、改善                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○各県との連携、その他支援先の情報提供方法、評価方法の確認</li> <li>○改善策の立案、次年度活動内容への反映 ほか</li> </ul> </li> <li>■保有ソリューションの整理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○ソリューション・スキルマップの見直し(不足分野の洗い出し、ほか)</li> </ul> </li> <li>■DX啓蒙活動の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○シンポジウム、相談会などの開催</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎経産省補助事業が継続的に実施されている。(目標:支援企業20社)</li> <li>◎支援体制確立に向けて、中小・中堅企業がDXへの取組みに関する相談～課題分析(伴走支援)～ソリューション提案・導入のスキームを策定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■支援スキーム実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○支援スキームの実施</li> <li>○支援スキームの評価、分析、改善</li> </ul> </li> <li>■保有ソリューションの整理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○不足分野の洗い出し等</li> </ul> </li> <li>■DX啓蒙活動の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○シンポジウム、相談会等の開催</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎前年度に策定したスキームの試行・検証を行い、次年度からの本格運用ができる状態となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■支援スキーム実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○目標(支援数、DX指標)の設定</li> <li>○支援スキームの実施</li> <li>○支援スキームの評価、分析、改善</li> </ul> </li> <li>■保有ソリューションの整理                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○不足分野の洗い出し等</li> </ul> </li> <li>■DX啓蒙活動の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○シンポジウム、相談会などの開催</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎九州全域での支援体制が確立されている。(中小・中堅企業からのDX相談窓口、伴走支援、ソリューション提案、導入等)</li> <li>◎労働生産性、売上・収益等の指標を参考に、DXの効果を図りながら、支援・フォローができるていること。</li> </ul>
4	食品の輸出拡大に向けた官民共同プロモーションによる各種輸出フェア等の連携実施	地域共創部	<ul style="list-style-type: none"> <li>①輸出先の多角化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■知事会輸出分科会との海外プロモーションの計画共有、協働検討</li> </ul> </li> <li>②食の輸出推進チーム(輸出支援7団体)の連携、役割分担再編成による機能強化</li> <li>③伴走支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>■食輸出協議会の九州フェア(台湾、香港、米国)のうち、香港への各県共同プロモーション提案・実施</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■輸出分科会との協業計画立案</li> <li>■食の輸出推進チーム(輸出支援7団体)の連携、役割分担再編成による機能強化</li> <li>■九州フェア(ベトナム・カンボジア)への各県共同プロモーション提案・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■知事会輸出分科会主催フェアへの共同プロモーション参加</li> <li>■食の輸出推進チーム(輸出支援7団体)の連携、役割分担再編成による機能強化</li> <li>■九州フェア(台湾、香港)への各県共同プロモーション提案・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■輸出分科会との協業計画立案</li> <li>■食の輸出推進チーム(輸出支援7団体)の連携、役割分担再編成による機能強化</li> <li>■九州フェア(台湾、香港、米国)への各県共同プロモーション提案・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎新規開拓、定番商品発掘、自走化までの伴走支援、および実績作り</li> <li>◎九州の生産者、加工業者、輸出業者への支援と輸出実績拡大</li> <li>◎九州フェア開催5カ国・地域</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■輸出分科会との協業計画立案</li> <li>■食の輸出推進チーム(輸出支援7団体)の連携、役割分担再編成による機能強化</li> <li>■九州フェア(台湾、香港、米国)への各県共同プロモーション提案・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎新規開拓、定番商品発掘、自走化までの伴走支援、および実績作り</li> <li>◎九州の生産者、加工業者、輸出業者への支援と輸出実績拡大</li> <li>◎伴走支援した商品の定番化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■輸出分科会との協業計画立案</li> <li>■食の輸出推進チーム(輸出支援7団体)の連携、役割分担再編成による機能強化</li> <li>■九州フェア(台湾、香港、米国)への各県共同プロモーション提案・実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎新規開拓、定番商品発掘、自走化までの伴走支援、および実績作り</li> <li>◎九州の生産者、加工業者、輸出業者への支援と輸出実績拡大</li> <li>◎伴走支援した商品の定番化</li> </ul>

具体的取組	担当部署	2024年度				2025年度		2026年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	到達目標・KGI	アクションプラン	到達目標・KGI	アクションプラン	到達目標・KGI
5 農業の持続的成長に向けた多様な担い手の確保と生産性向上支援	地域共創部	①域外企業の農業参入促進 ■経団連・自治体とのヒアリング・課題整理、懇談会	■連携方法の検討 ・平場、北海道等の先進地区の企業参入事例共有 ・先進JA、養父特区事例共有	■連携施策の提案・実施 (各県・経団連との共催・農業参入セミナー/シンポジウム)	■農業参入の検討企業との問題点共有、解決策策定	◎企業の農業参入の候補企業との情報共有、問題点改善	■連携施策の提案・実施 (各県・経団連との共催・農業参入セミナー/シンポジウム)	◎新たな農業担い手の具体化	■連携施策の提案・実施 (各県・経団連との共催・農業参入セミナー/シンポジウム)	◎新たな農業担い手の具体化
		②地域企業による地域農業への、人的支援、副業認可、農業参入モデル作り ■JA・農林中金、自治体と、企業研修、援農アプリを切り口に参入支援検討	■JA・農林中金、自治体も検討してのスマート農業活用モデル提示	■JA・農林中金、自治体と、次の切り口の支援仕組みを試行	■JA・農林中金、自治体と、次の切り口の支援仕組みを試行	◎地域企業による地域農業への人的支援実施、副業認可、参入着手の実現 ◎援農マッチングアプリ活用企業および企業研修への農業カリキュラム導入企業の実現(3社)	■地域企業の地域農業支援から農業参入へのステップ支援体制構築(JA、農林中金、自治体協業)	◎地域企業による地域農業への人的支援実施、副業認可、支援部門設立等、農業参入事例創出	■地域企業への農業支援参入呼びかけ実施	◎地域企業による地域農業への人的支援実施、副業認可、支援部門設立等、農業参入事例創出
		③スマート農業モデル構築と耕作放棄地活用モデル構築、それらの九州各県への展開による中山間地の営農支援 ■農研機構、自治体と、九州の中山間地農業存続の方向性検討 ■耕作放棄地活用モデルの検討	■集落営農化や広域連携も検討してのスマート農業活用モデル提示	■中山間地に合ったスマート農業の最適な投入実例、集落営農化や広域連携のガイドを九州各県へ展開	■農研機構、自治体と、九州の中山間地農業存続の方向性検討	◎スマート農業モデル活用事例3件	◎耕作放棄地活用モデルの策定・九州地域戦略会議への提案	■耕作放棄地活用モデルを九州各県へ展開	◎耕作放棄地活用モデルを九州各県へ展開し、九州の中山間地農業存続、耕作放棄地拡大阻止への寄与	
6 中大規模木造建築物の普及による林業活性化とCO2削減への貢献	地域共創部	【木材サプライチェーン構築】 ■木造ビル・木造公共施設実例の共有、費用面での可能性、地元材による供給情報の集約	■木造ビル・木造公共施設実現へネットワーク構築、地元材による供給情報の発信	■ネットワークからの九州での木造ビルの一般化推進	◎モビルネットワークが寄与した木造ビルの新規計画1件以上	■モビルネットワークからの九州での木造ビル誘導 ■林業活性化へ専門部会と協業	◎モビルネットワークが寄与した木造ビルの新規計画1件以上	■モビルネットワークからの九州での木造ビル誘導 ■林業活性化へ専門部会と協業	◎ビル建築時の木造検討の一般化	
									◎林業活性化への寄与	
重点戦略3. GX推進および将来にわたって産業と生活を支えるエネルギーの安定供給に資する取組み										
7 省エネ・脱炭素の早期実現に向けた更なる意識醸成	産業振興部	■省エネ・脱炭素に関する講演会の実施 北部会員企業を対象に脱炭素経営への意識醸成を目的とした講演会の実施	■脱炭素経営に向けた先進的取組を四季報へ掲載(九経連) ■脱炭素経営に向けた先進的取組を会議所newsへ掲載(各商工会議所との連携)	■省エネ・脱炭素に関する講演会の実施 南部会員企業を対象に脱炭素経営への意識醸成を目的とした講演会の実施	■脱炭素経営に向けた先進的取組を四季報へ掲載(九経連) ■脱炭素経営に向けた先進的取組を会議所newsへ掲載(各商工会議所との連携)	◎脱炭素経営への取組方針の決定	■省エネ・脱炭素に関する講演会の実施 ■省エネ・脱炭素化への取組の四季報への掲載	◎脱炭素経営への取組企業:目標100社	■省エネ・脱炭素に関する講演会の実施 ■省エネ・脱炭素化への取組の四季報への掲載	◎脱炭素経営への取組企業:目標累計200社
		■九経連会員企業への脱炭素経営に対する取組アンケートの実施	■アンケート結果の集約	■アンケート結果に基づく対策の検討	■脱炭素経営への取組方針の決定	◎水素等脱炭素技術の社会実装に向けた課題の解決策整理	■脱炭素経営への取組方針に沿った取組支援	◎水素等脱炭素技術の社会実装に向けた具体的プロジェクトについて研究会で議論	■水素等脱炭素技術の社会実装に向けた取組支援	◎水素等脱炭素技術の社会実装に向けた具体的プロジェクトの創出
		■水素等脱炭素技術の社会実装に向けた取組(CN推進研究会) ○現状把握	○社会実装に向けた課題検討(CN推進研究会) ○CN・省エネセミナー(九経局との共催)	○社会実装に向けた課題分析と解決策の検討	○社会実装に向けた解決策の共有と検討(CN推進研究会)		◎水素等脱炭素技術の社会実装に向けた具体策の検討(CN推進研究会)	◎水素等脱炭素技術の社会実装に向けた具体策の方向性の決定	◎水素等脱炭素技術の社会実装に向けた具体的プロジェクトの創出	

具体的取組	担当部署	2024年度				2025年度		2026年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	到達目標・KGI	アクションプラン	到達目標・KGI	アクションプラン	
8 地域脱炭素達成のための省エネ・脱炭素技術実装支援	産業振興部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■脱炭素先行地域空白県(佐賀、大分)への働きかけ(環境事務所との連携)</li> <li>■脱炭素先行地域を起点にした「脱炭素ドミノ」を起す仕掛けづくりを環境事務所と検討(年度内)</li> <li>■補助金申請希望者へのヒアリング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■省エネ・脱炭素経営の先進的取組企業への視察会の実施</li> <li>■脱炭素先行地域の取組に関する勉強会の実施(企画部会)</li> <li>■ヒアリング結果の集計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■企業と自治体のマッチングイベントの開催(九州地方環境事務所との連携)</li> <li>■脱炭素先行地域空白県(佐賀、大分)への働きかけ(環境事務所との連携)</li> <li>■補助金申請手続き簡素化への要望事項のとりまとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■省エネ・脱炭素経営の先進的取組企業への視察会の実施</li> <li>■補助金申請手続き簡素化の実施(経産省、環境省)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎佐賀、大分2県の脱炭素先行地域への選定</li> <li>◎マッチング実績(1件)</li> <li>◎脱炭素先行地域の取組の水平展開の実績(1件)</li> <li>◎補助金申請手続き簡素化の要望活動の実施(1件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自治体マッチングイベント実施</li> <li>■脱炭素先行地域の取組の水平展開の実施</li> <li>■補助金申請手続き簡素化に向けての国への継続的要望活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎マッチング実績(1件)</li> <li>◎脱炭素先行地域の取組の水平展開の実績(1件)</li> <li>◎脱炭素先行地域を前年比+5か所</li> <li>◎補助金申請手続き簡素化に向けての要望活動の実施(1件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自治体マッチングイベント実施</li> <li>■脱炭素先行地域の取組の水平展開の実施</li> <li>■補助金申請手続き簡素化に向けての国への継続的要望活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎マッチング実績(累計3件)</li> <li>◎脱炭素先行地域の取組の水平展開の実績(累計3件)</li> <li>◎脱炭素先行地域を前年比+5か所</li> <li>◎補助金申請手続き簡素化に向けての要望活動の実施(累計3件)</li> </ul>
9 GX推進戦略に基づくエネルギー安定供給と脱炭素の取組実施	産業振興部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サーキュラーエコノミーに関する取組 ○国の政策動向等調査</li> <li>■原子力や再生エネに関する取組 ○国の政策動向等調査</li> <li>■カーボンプライシングに関する取組 ○国の政策動向等調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国の政策動向等調査</li> <li>○国の政策動向等調査</li> <li>○国の政策動向等調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業の取組状況等調査(先進事例視察等)</li> <li>○研究開発進捗等調査(先進事例視察等)</li> <li>○GXリーグ取組等調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調査結果とりまとめ・企画部会報告</li> <li>○要望事項とりまとめ・国への要望</li> <li>○調査結果とりまとめ・企画部会報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎CEに関する情報の収集・整理・情報提供</li> <li>◎原子力や再生エネに関する国への要望</li> <li>◎カーボンプライシングの情報収集・整理・情報提供</li> <li>◎ESG投融資方針を活用した会議体としての方向性の決定(ESG投融資推進会議)</li> <li>◎広域連携プロジェクトの組成(1件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■CEの理解促進に向けた具体策の検討</li> <li>■原子力や再生エネに関する情報収集の継続・国への要望に対するフォロー</li> <li>■排出量取引制度本格稼働に関する情報収集・整理</li> <li>■広域連携プロジェクトの組成&amp;進捗サポート</li> <li>■ESG投融資方針に基づいた異業種交流会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎CEの理解促進に向けた方策の方向性決定</li> <li>◎原子力や再生エネに関する国への要望</li> <li>◎排出量取引制度本格稼働への理解促進に向けた情報提供</li> <li>◎広域連携プロジェクトの組成(1件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■CEの理解促進に向けた具体策の検討</li> <li>■原子力や再生エネに関する情報収集の継続・国への要望に対するフォロー</li> <li>■排出量取引制度本格稼働に関する進捗状況調査</li> <li>■広域連携プロジェクトの組成&amp;進捗サポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎CEの理解促進に向けた具体策の展開</li> <li>◎原子力や再生エネに関する国への要望</li> <li>◎排出量取引制度本格稼働状況の情報提供</li> <li>◎広域連携プロジェクトの組成(累計3件)</li> </ul>
重点戦略4. 産学官連携によるイノベーションエコシステム構築支援										
10 ベンチャー振興会議・九州ベンチャーマーケット(KVM)等との連携による九州発スタートアップの魅力発信と支援	産業振興部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■九州・大学発VBPC実行委員会(5月)</li> <li>■九州・大学発ベンチャー振興会議事務局会議(上期3-4回)</li> <li>■福岡スタートアップコンソーシアム幹事会(4月、8月)</li> <li>■各自治体のスタートアップ、ベンチャー支援に関する取組みについてヒアリング(協働可能性のある取組みの絞り込み)</li> <li>■ベンチャー振興会議HP等活用による九州スタートアップの魅力発信</li> <li>■VCや投資ファンド等との連携支援(切れ目のない支援)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■九州・大学発VBPC一次審査会(8月)</li> <li>■九州・大学発ベンチャー振興実践会議(8月)</li> <li>■KVM担当者会議(5月)・KVM実行委員会(7月)</li> <li>■自治体同士の意見交換・情報共有の場の設置(協働可能性のある取組みについて具体策検討)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■九州・大学発VBPC二次審査会(10月)・最終審査会(11月)</li> <li>■九州域外からの資金調達についての検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■九州・大学ベンチャービジネス振興会議(2月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資金調達率全国比3%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■推進団体との協働を継続実施</li> <li>■九州での新たな資金調達方法の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資金調達率全国比3.2%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■推進団体との協働を継続実施</li> <li>■九州での新たな資金調達方法の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎資金調達率全国比3.5%(2030年度目標:全国比5%)</li> </ul>

具体的取組	担当部署	2024年度				2025年度		2026年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	到達目標・KGI	アクションプラン	到達目標・KGI	アクションプラン	到達目標・KGI	
<b>重点戦略5. アジア地域諸国・世界との連携強化</b>											
11	MOU締結先の企業と九経連会員企業との交流機会の提供	総務国際部	<ul style="list-style-type: none"> <li>MOU締結先の窓口情報の更新、情報交換などネットワーク維持方策の検討・実施</li> <li>MOUや国際交流に関する会員企業アンケート調査</li> <li>KPCの継続的なPRと活用促進(HPや四季報活用による四半期毎の情報発信)</li> <li>産業振興部・地域共創部と連携したMOU活用施策の検討 ○医療渡航プロモーションの施策立案・実施(地域共創部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MOU締結先から重点締結先の選定、次年度以降の事業の策定(相手国・地域、重点分野等)</li> <li>台湾・日本(九州)経済交流フォーラム2025の実施(開催に合わせた台湾へのミッション団派遣)</li> <li>タイへのヘルスケア産業に関わるミッション派遣(九経局主導事業への連携)</li> <li>ベトナムでの食の商談会、九州の企業進出・人材等をテーマとしたミッション団派遣等実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MOU活用施策の決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MOU締結先との連絡・情報共有体制が確立し、時宜を得た相手先との経済交流活動が進展している</li> <li>KPCの認知度・利活用実績の向上(イベント等を通じたベトナムとの交流や企業の海外展開実現)k</li> <li>産業振興部・地域共創部と連携したMOU活用施策の決定</li> <li>对中国医療渡航誘致施策の実施(地域共創部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MOU締結先の窓口情報の更新、情報交換などネットワークを維持。</li> <li>MOUや国際交流に関する会員企業アンケート調査実施、</li> <li>会員のニーズを踏まえた国・テーマに基づくミッション団派遣・受入等</li> <li>KPCの継続的なPRと活用促進(HPや四季報活用による四半期毎の情報発信)</li> <li>産業振興部・地域共創部と連携したMOU活用施策の実施、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MOU締結先との連絡・情報共有体制が確立し、時宜を得た相手先との経済交流活動が進展している</li> <li>KPCの認知度・利活用実績の向上(イベント等を通じたベトナムとの交流や企業の海外展開実現)</li> <li>産業振興部・地域共創部と連携したMOU活用施策の実行(内容によっては次年度まで継続)</li> <li>医療渡航誘致施策の実施(地域共創部)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MOU締結先の窓口情報の更新、情報交換などネットワークを維持。</li> <li>MOUや国際交流に関する会員企業アンケート調査実施、</li> <li>会員のニーズを踏まえた国・テーマに基づくミッション団派遣・受入等</li> <li>KPCの継続的なPRと活用促進(HPや四季報活用による四半期毎の情報発信)</li> <li>産業振興部・地域共創部と連携したMOU活用施策の実行</li> <li>医療渡航誘致施策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>MOU締結先との連絡・情報共有体制が確立し、時宜を得た相手先との経済交流活動が進展している</li> <li>KPCの認知度・利活用実績の向上(イベント等を通じたベトナムとの交流や企業の海外展開実現)</li> <li>産業振興部・地域共創部と連携したMOU活用施策の実行</li> <li>医療渡航誘致施策の実施</li> </ul>	
12	他団体と連携したMICE等誘致支援	総務国際部	<ul style="list-style-type: none"> <li>World One Health Congress(2028開催)の誘致支援委員会活動支援</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>誘致支援委員会の計画進捗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>World One Health Congress(2028開催)の誘致支援委員会活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘致支援委員会の計画進捗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>World One Health Congress(2028開催)の誘致支援委員会活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誘致支援委員会の計画進捗</li> </ul>	
<b>重点戦略6. 産学官連携による高度専門人材の育成支援</b>											
13	先導的ICT人材育成事業(インターンシップ)の推進・拡大	産業振興部	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材育成(インターンシップ)事業の実施(主なエリア:福岡)</li> <li>事業拡大に向けた課題整理 ○受入企業の拡大方法 ○参加学生の拡大方法 ○スキーム・運営主体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>方針決定 ○課題整理した結果、事業の拡大について方針決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決施策の実施 ○受入企業拡大に向けた説明会実施、関係各所との協議 ○参加学生の拡大(コンソーシアムへの参加打診) ○スキーム、運営主体整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次年度実施に向けた周知 ○目標設定(参加エリア、参加学生数など) ○企画企業、参加大学への開催案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在のインターンシップ事業を全県に拡大するスキームの策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT人材育成事業の実施 ○インターンシップ事業の実施</li> <li>事業拡大に向けた取組み ○インターンシップ実施結果の分析・評価(実施エリア、参加企業数、参加学生数、運営スキームなど) ○受入企業の拡大に向けた説明会、関係各所との打診 ○参加学生の拡大(コンソーシアムへの参加打診)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度に策定したインターンシップ拡大スキームの試行的展開とスキームの確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT人材育成事業の実施 ○インターンシップ事業の実施</li> <li>事業拡大に向けた取組み ○インターンシップ実施結果の分析・評価(実施エリア、参加企業数、参加学生数、運営スキームなど) ○受入企業の拡大に向けた説明会、関係各所との打診 ○参加学生の拡大(コンソーシアムへの参加打診)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州全域での先導的ICT人材育成(インターンシップ)事業展開</li> </ul>
<b>重点戦略7. 九州地域の経済・産業の活性化による所得・給与向上の取組み</b>											
14	適正な価格転嫁による成長と分配の好循環の実現	経営企画室	<ul style="list-style-type: none"> <li>買上げ実施中小企業に対する支援策について九州地域戦略会議へ提案</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な価格転嫁と買上げに関する呼びかけ(他団体との連携)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な価格転嫁と買上げに関する呼びかけ(他団体との連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な価格転嫁と買上げに関する呼びかけ(他団体との連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な価格転嫁と買上げに関する呼びかけ(他団体との連携)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な価格転嫁と買上げに関する呼びかけ(他団体との連携)</li> </ul>	

具体的取組	担当部署	2024年度				2025年度		2026年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	到達目標・KGI	アクションプラン	到達目標・KGI	アクションプラン	到達目標・KGI
<b>重点戦略8. 多様性・包摂性ある風土の醸成</b>										
15	ジェンダー主流化の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>■WE-Net福岡「修了生の本会事業への参画」</li> <li>○WE-Net事務局と調整(メンバー選定)</li> <li>■WE-Net福岡からWE-Net九州への刷新</li> <li>○準備検討</li> <li>○福岡県を除く地域からの参加に向けた検討</li> <li>■あるべき法整備に関する提言</li> <li>○SWG開催</li> <li>■各県の女性活躍推進団体のネットワーク構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○九経連 各部会への参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参加募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○提言とりまとめ</li> <li>○提言実施</li> <li>○フォロー</li> <li>○意見交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ジェンダー主流化を踏まえた研修開催</li> <li>○ジェンダー主流化を踏まえた研修開催</li> <li>○ジェンダー主流化を踏まえた研修開催</li> <li>○実績地域以外での参加者募集</li> <li>○提言1件</li> <li>○各県連携事業(意見交換会等)1件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○修了生の部会等九経連事業への参画促進</li> <li>○ジェンダー主流化を踏まえた研修開催</li> <li>○実績地域以外での参加者募集</li> <li>○提言を踏まえた活動</li> <li>○提言テーマ決定</li> <li>○意見交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当会事業への参画10名/年(累計20名)</li> <li>○研修男女比率7:3実現</li> <li>○研修生20~30名</li> <li>○福岡県を除く2地域からの参加</li> <li>○提言テーマ決定1件</li> <li>○各県連携事業(意見交換会等)1件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○修了生の部会等九経連事業への参画促進</li> <li>○ジェンダー主流化を踏まえた研修開催</li> <li>○実績地域以外での参加者募集</li> <li>○提言を踏まえた活動</li> <li>○KGGI・EGGI観測</li> <li>○提言まとめ</li> <li>○意見交換会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当会事業への参画10名/年(累計30名)</li> <li>○研修男女比率7:3実現</li> <li>○実施地域を除く2地域からの参加</li> <li>○KGGI・EGGI改善</li> <li>○提言まとめ 1件</li> <li>○各県連携事業(意見交換会等)1件</li> </ul>
<b>重点戦略9. ハード・ソフト両面のインフラ整備と広域連携施策の推進</b>										
16	インフラ整備の事業化および事業の早期実現に向けた要望活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>■各地の整備状況/要望状況等の調査</li> <li>■要望活動の機会があれば随時対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■総会/整備促進大会の実施</li> <li>■九州・山口地域の交通基盤整備に関する要望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■総会/整備促進大会の実施</li> <li>■要望活動の機会があれば随時対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■要望活動の機会があれば随時対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要望事業の着実な整備進捗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事業化および事業の早期実現に向けた活動(機運醸成・促進大会開催・要望活動)の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要望事業の着実な整備進捗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事業化および事業の早期実現に向けた活動(機運醸成・促進大会開催・要望活動)の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要望事業の着実な整備進捗</li> </ul>
17	オープンデータのデータ連携プラットフォーム構築とユースケースの実装	<ul style="list-style-type: none"> <li>■広域データ連携のユースケース検討・決定</li> <li>■データ連携基盤の仕様・運営方法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ユースケース実現に向けたデータセット整理</li> <li>■データ連携基盤仕様・運営方法等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■データ連携基盤仕様・運営方法等の詳細検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■データ連携基盤仕様・運営方法等の決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オープンデータのユースケースの選定</li> <li>○データ連携基盤の仕様・運営方法等の決定、予算算出(次年度、予算確保)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ユースケース創出・データセットの整理</li> <li>■データ連携基盤構築・サービス実装</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○データ連携基盤の構築・サービス実装</li> <li>○運営方法確立(利用料、事務局 他)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ユースケース創出・データセットの整理</li> <li>■データ連携基盤構築・サービス追加実装検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○データ連携基盤・デジタル認証IDの構築</li> <li>○オープンデータ・パーソナルデータを利用した様々なサービスが実用化され、地域の暮らしが便利・豊かになっている。</li> </ul>
18	デジタル認証IDの構築とデータ連携プラットフォームを活用したパーソナルサービスの実装	<ul style="list-style-type: none"> <li>■広域連携のパーソナルデータを活用したユースケースの検討・決定</li> <li>■PoC実施に向けたデジタル認証ID・データ連携仕様の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ユースケース実現に向けたデータセット整理</li> <li>■PoC実施地域・事業者選定、及び運営方法等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■PoC実施に向けた詳細検討(実施サービスの詳細、サービス実施事業者との協議、運営体制、費用負担等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■PoC実施に向けた詳細検討(実施サービスの詳細、サービス実施事業者との協議、運営体制、費用負担等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パーソナルデータ連携のユースケースの選定</li> <li>○1つ以上のパーソナルサービスPOC開始準備の完了(予算確保、仕様、運営方法 等)。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ユースケース創出、データセットの整理</li> <li>■PoC実施、評価</li> <li>■データ連携基盤仕様・デジタル認証ID、運営方法等の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○PoC実施、評価完了</li> <li>○デジタル認証IDの決定(利用料、配布方法 他)</li> <li>○データ連携基盤の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ユースケース創出、データセットの整理</li> <li>■データ連携基盤仕様・デジタル認証IDの実装</li> </ul>	
19	九州MaaSの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■協議会設置・事業開始</li> <li>○サービスコンテツツWG</li> <li>○プロモーションWG</li> <li>○データ利活用WG</li> <li>■参画事業者の募集</li> <li>■国交省補助金手続き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■九州MaaSサービス開始</li> <li>■事業推進・検討深度化</li> <li>■2025年度以降の事業計画策定着手</li> <li>■インバウンド向け商品の設定・発売開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■2025以降の計画策定</li> <li>■関係団体・企業等と連携した海外向けプロモーションの実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■2025以降の計画策定</li> <li>■2025年度事業トレース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協議会設置</li> <li>○九州MaaSサービス開始</li> <li>○インバウンド向け商品設定とプロモーションの実施</li> <li>○2025年度以降事業計画策定</li> <li>○新しいモビリティ(自動運転等)の導入支援によるモビリティネットワーク構築の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事業推進</li> <li>■WGでの検討深度化</li> <li>■参画事業者の募集</li> <li>■インバウンドの利用・消費拡大に向けた事業推進(欧米豪等への展開)</li> <li>■新しいモビリティ(自動運転等)の導入推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○九州MaaSサービスの拡大</li> <li>○データ利活用事例の拡大</li> <li>○参画事業者拡大(年度末60社)</li> <li>■新しいモビリティ(自動運転等)の導入推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事業推進</li> <li>■WGでの検討推進</li> <li>■参画事業者の募集</li> <li>■インバウンドの利用・消費拡大に向けた事業推進(欧米豪等への展開)</li> <li>■新しいモビリティ(自動運転等)の導入推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○左記項目の実現</li> <li>○参画事業者60社以上</li> <li>○自動運転実証・実装案件3件(累計)</li> </ul>

具体的取組	担当部署	2024年度				2025年度		2026年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	到達目標・KGI	アクションプラン	到達目標・KGI	アクションプラン	到達目標・KGI	
<b>重点戦略10. 地域の暮らしと産業を守る防災・減災機能の高度化支援</b>											
20 防災DXの官民共創 (災害対策高度化支援、 防災対策サービスの官民共創、 広域連携の仕組みづくり)	SR-防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>■災害情報活用プラットフォームを活用した広域連携の実証・実装</li> <li>○大分・宮崎県PoCを踏まえた他県展開の検討</li> </ul>		○出水期にてPoC実施	○PoC後の検証	◎大分・宮崎を除く広域連携の実証 1件	○一部地域での広域連携実現に向けた展開	◎過去実証地域を除く地域での広域連携の実証 1件	○一部地域で実装	◎複数県連携に資する災害情報活用プラットフォーム実装4県(累計)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○パートナー企業リソースによる情報のrich化・出口サービスの検討</li> </ul>				◎実証の企画	○実証の実施	◎実証 1件	○実装に向けた検討・整理	◎実装に向けた検討1件(南海トラフ地震を想定した初動対応のデジタル化構想)	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■雷による瞬低・瞬停リスク低減のための落雷予測技術の実証・実装</li> <li>○落雷危険度予測サービス実証</li> </ul>				◎実証5社	○実証の実施	◎実証5社	○一部地域で実装	◎一部地域で実装	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■九州防災DXタスクフォース会員企業のリソースを活用したサービスの実証・実装</li> <li>○新たな防災領域でのサービスの企画・検討</li> </ul>				◎実証1件	○一部地域で実装	◎実証	○広域展開	◎広域展開	
		○パーソナルデータを活用したサービスの企画・検討(QDPとの連携)		○PoC準備		◎企画・PoC準備 1件	○実証(QDPとの連携)	◎実証(QDPとの連携) 1件	○実装(QDPとの連携)	◎実装(QDPとの連携) 1件	
<b>重点戦略11. 九州各地域に共通する課題・九州全域に波及する課題の解決</b>											
21 「ツール・ド・九州」の開催 とそれを活かした地域活性化	地域共創部	<ul style="list-style-type: none"> <li>①レース運営支援</li> <li>■要望・継続開催調整、大会ボランティア募集、協力企業への対応</li> </ul>	→	○第2回ツール・ド・九州運営サポート	○協力企業からの大会フィードバック徴求。	◎第2回ツール・ド・九州開催	■大会ボランティア募集をはじめとする運営サポート	◎第3回ツール・ド・九州開催	■大会ボランティア募集をはじめとする運営サポート	◎第4回ツール・ド・九州開催	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>②地域活性化施策</li> <li>■産学官民との連携</li> <li>■地域活性化施策の検討</li> </ul>	→	■取組実行	■成果確認→次回大会での取組検討へつなげる	◎交流・関係人口の増加 ◎新たな地域資源の顕在化、創出	■産学官民との連携 ■地域活性化施策の検討	◎交流・関係人口の増加 ◎新たな地域資源の顕在化、創出	■産学官民との連携 ■地域活性化施策の検討	◎「ツール・ド・九州」をフックとした地域活性化施策を開催地のみならず、九州全域で展開	
22 地域に根差した連携事業 (産学官民協働)の展開	地域共創部	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人材確保、関係人口拡大</li> <li>○人材共有モデル構築</li> </ul>	→	○地域特性に応じた事業企画・枠組み検討		◎探求学習の実施	■就業人口拡大施策実施		■就業人口拡大施策実施		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○若者の地元定着施策</li> <li>○外国人材確保 等</li> </ul>	→	○高校生向け探求学習 <td>○九州コンソーシアム事業内容検討</td> <td>○九州コンソーシアム事業実施</td> <td>◎人材確保に向けた事業実施1件</td> <td>○九州コンソーシアム事業推進</td> <td>◎人材確保に向けた事業実施1件</td> <td>○九州コンソーシアム事業推進</td> <td>◎人材確保に向けた事業実施1件</td>	○九州コンソーシアム事業内容検討	○九州コンソーシアム事業実施	◎人材確保に向けた事業実施1件	○九州コンソーシアム事業推進	◎人材確保に向けた事業実施1件	○九州コンソーシアム事業推進	◎人材確保に向けた事業実施1件
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■デジタル×出会い応援</li> <li>○行政が行う出会い応援事業を支援</li> </ul>	→			○JEWELS+のKGIに準ずる	◎JEWELS+のKGIに準ずる	◎JEWELS+のKGIに準ずる	◎デジタル×出会い応援 ○行政が行う出会い応援事業を支援	◎JEWELS+のKGIに準ずる	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域資源活用モデルの構築</li> <li>○関門連携施策実施</li> <li>○九州国立博物館活用施策</li> <li>○菜の花栽培およびバイオ燃料精製実証実験(肝付町)</li> <li>○イベントへの台湾からの集客(指宿市) 等</li> </ul>	→	○成果・課題の確認		◎関門地域の連携強化 ◎九州国立博物館活用施策の実施 ◎実証実験拡大 ◎インバウンド集客、ふるさと納税を活用した財源確保策の立案	■地域資源活用モデルの構築 ○関門連携施策実施 ○九州国立博物館活用施策 ○菜の花栽培およびバイオ燃料精製実証実験(肝付町) ○イベントへの台湾からの集客(指宿市) 等	◎関門地域の連携強化 ◎九州国立博物館活用施策の実施 ◎実証実験拡大 ◎インバウンド集客、ふるさと納税を活用した財源確保策の立案	◎関門地域の連携強化 ◎九州国立博物館活用施策の実施 ◎実証実験拡大 ◎インバウンド集客、ふるさと納税を活用した財源確保策の立案		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>■求める働き方や生き方が実現できる地域モデル</li> <li>○健康DXモデル</li> </ul>	→	○健康DX事業企画に向けた検討		◎広域連携を見据えた健康DX事業の企画 1件	○健康DX事業を一部地域にて実証	◎広域連携を見据えた健康DX事業の実証 1件	○健康DX事業を一部地域にて実装し、モデルを構築	◎健康DX事業を一部地域にて実装し、モデルを構築1件	